

“The Monster in the Hall” by David Greig

宮殿のモンスター

俺にはもうおまえの面倒をみてやれないんだ〜。トホホ…。
有名小説家になって、私がパパを守る！でも、難題が続々。ぎゃあ。
僕はゲイじゃない…どう証明する？ワオ。
マシンガン付きブラはだでじゃなくてよ。うふふ…。

前売開始
10.1 (Sat)

2011. 12. 10 (Sat) ▶ 13 (Tue)

西荻窪 遊空間がさびい



石田博英 (劇団昂)



高山佳音里 (劇団昂)



西村俊彦 (マック・ミック)



備本よしか (プロダクション・タンク)

16歳の少女ダックとカッコよくもダメなバイク野郎のパパが2人の暮らしを守ろうとして、悪戦苦闘する物語。2人を取り巻く人々の思惑と、少女のアナログな夢想と、パパのバーチャル空間が入り混じって、大混戦。ソーシャルで、エデュケーショナルで、たまらなく情けなくて、愛おしくて、可笑的。装置や照明の力を借りず、ささやかな小道具と音楽を駆使、そして多彩な演劇手法を駆使することで、演劇にしかできないユニークな表現を探る傑作。2010年、スコットランドで初演された作品の本邦初演。

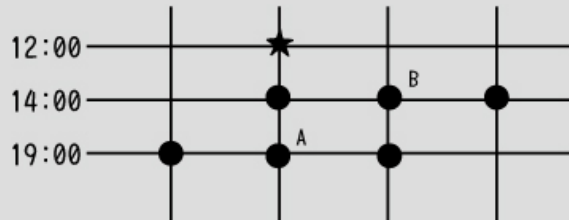
作：ディヴィッド・グレイグ
訳：中山夏織
演出：斎藤貴司 (劇団キンダースペース)

振付：依田朋子
音響：藤平美保子 (T.E.S.)
宣伝美術：内田阿紗子
Web制作：油上恵子
演出助手：松本純一 (劇団黒)
プロダクション・マネジメント：酒井祐美
プロデューサー：中山夏織

公演日時 開場は開演の30分前

2011.12.10(土) ▶ 13(火)

12.10 12.11 12.12 12.13
(土) (日) (月) (火)



★ エデュケーション・ワークショップ
12:00～13:00 参加費1,000円(要予約)
A ポスト・トーク「スコットランド演劇の現在」
B 出演者・スタッフによるポスト・トーク
詳細はホームページをご覧ください。

チケット
一般 3,500円 学生 2,500円

▶ インターネット予約
<http://www5a.biglobe.ne.jp/~tpn/plays-players/>
▶ 電話予約 (カンフェティチケットセンター)
TEL: 0120-240-540 (平日 10:00～18:00)
※インターネット、電話予約ともにセブンイレブンでの発券となります。
手数料はチケット1枚につき210円

お問い合わせ先
シアタープランニングネットワーク
TEL: 03-5384-8715
ホームページ: <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tpn/>

会場
遊空間がさびい
〒167-0042
東京都杉並区西荻北 5-9-12 そらの上
TEL 03-3395-0133
JR中央線西荻駅北口徒歩8分



ディヴィッド・グレイグ

David Greig
劇作家・演出家



1969年スコットランド生まれ、ナイジェリアで育つ。ブリストル大学で英文学と演劇を学び、1990年、大学時代に出会った演出家グラハム・イートフ、音楽家ニック・パウエルとともに、劇団サスペクト・カルチャーを設立。1992年、劇作家としてデビュー。メインストリームから、エンターテイメント、ミュージカル、実験演劇、児童青少年演劇、パパやバーでの上演、あらゆるものに挑み続ける英国で最も多忙な劇作家として知られ、多くの国で翻訳上演されています。

主な作品として、『ブルデンシア・ハートの奇妙な破滅』(2011年、スコットランド国立劇場)、『ミッドサマー』(2008年、トラバースシアター)、『黄色い月』(2006年、TAGシアターカンパニー)、『タンタンの冒険』(2005年、ヤングウィック&パービカンシアター)、『アメリカン・パイロット』(2005年、RSC)、『ピレネー山脈』(2005年、ベインズ・ブロー&トロシシアター、TMA新作戯曲賞受賞)、『サンディエゴ』(2003年、トロシシアター&ロイヤルライシャムシアター、エディンバラ国際演劇祭招待作品)、『辺境の島々』(2002年、トラバースシアター、スコットランド演劇批評家賞、エディンバラ・フリンジ・ファースト賞ならびにヘラルド・エンジェル賞受賞)、『コルチャック先生の選択』(2001年、TAGシアターカンパニー)、『旧ソビエト連邦でかつて愛した女性への宇宙飛行士の最後のメッセージ』(1999年、ベインズ・ブロー、ジョン・ウィッチング賞受賞)、『ヨーロッパ』(1994年、トラバースシアター) 他、多数。

TPN Plays & Players

様々な要件から日本ではなかなか上演されにくい海外の優れた戯曲作品と、俳優のアンサンブルに焦点をあてて、シンプルに上演していくこと、俳優のアンサンブルに焦点をあてて、シンプルに上演していくことを主目的として、2011年7月、活動を開始したプロデューサーたちのチームです。とりわけ10代後半以降の若い世代をターゲットにした作品を上演するとともに、エデュケーション・プログラムの展開を期しています。NPO法人シアタープランニングネットワークが、その2000年の設立以来行ってきたドラマ教育、俳優トレーニング、アートマネジメント教育、国際交流等、様々な事業を統合させ、次の段階へと歩を進める試みです。

主催：特定非営利活動法人シアタープランニングネットワーク
後援：プリティッシュ・カウンシル